

観光地エリア景観計画に係る施設整備のチェックポイント

本チェックシートは、観光地エリア景観計画に基づく施設整備が魅力ある地域景観の形成に寄与することを目的に運用するものです。

施設設計時及び完成時に、チェックポイントを確認のうえ、市町（景観担当課）から県景観まちづくり課に「チェックシート（提出用紙）」を提出して下さい。なお、施設設計時には施設の概要が分かる資料、完成時には写真を添付して下さい。（マニュアル P.14 参照）

【眺望点（視点場の設置）】

- 景観資源が程よい大きさで見えるように配慮する。「程よい大きさ」とは、見込み角が 10° ～ 20° 程度である。※手を前に伸ばしたときの拳（グー）の見込み角が概ね 10° 、掌（パー）の見込み角が概ね 20° となる。



程よい大きさで見せたいものを意識した視点場の設置



逆さ富士が美しく映えるように配置された遊歩道

【ベンチの配置】

- 景観とは「見ること」であり、何を見せたいのかを意識してベンチを配置する。



風光明媚な場所には、人をもてなすベンチを配置



富士山と湖面を一緒に見ることができる位置にベンチを配置

【公共サインや観光案内板の色彩、形状、配置】

- 眺望を遮らないように設置場所・大きさ・高さ・方向・角度・色彩に配慮する。
- 複数の点在する案内看板等がある場合は、集約化を検討する。



案内板がなまこ壁を隠している



海への眺望に配慮して低い位置に配置したサイン

【防護柵の構造、色彩、デザイン】

- 防護柵を設置する場合は、景観配慮色・透過性の高い構造を採用する。
- 機能に無関係なイラストは景観を阻害するため、絵やレリーフ等の装飾は避ける。



景観配慮色と透過性の高い構造



機能に無関係なイラスト

【植栽、樹木の修景伐採】

- 樹木の配置は眺望を妨げないように配慮し、むやみに列植することは避ける。
- 樹木の修景伐採は、専門家の意見を聞くなどして、良好な眺望の確保に努める。



樹木が背後の富士山を遮っている



修景伐採により富士山眺望を確保

【園路の線形】

- 園路を直線的な形状とせず、変化に富んだシーケンスとする。



園路の曲線化により、景観の変化を楽しめる



園路の曲線化により、印象を和らげている

【水際部の線形】

- 水面との落差が小さな高水敷・植生などにより、柔らかな水際部を創出して、水際線が直線的にならないようにする。



親水公園の護岸や植生等で柔らかな水際部を創出



水際部の散策路や植生等により、印象を和らげている

【法面・擁壁の構造、形態】

- できる限り地形や植生等の自然の改変を抑えるよう工夫する。
- 圧迫感のある形態は避ける。また、機能に無関係の絵や文字を書かない。



凹凸感のある表面仕上げは、見た目の明度を下げている



一時の話題づくりで安易な装飾は避けること

【同一の断面形状】

- 直線・平面的な構造物とせず、単調でない形状とすることに配慮する。



地面に起伏を施した緑地公園



デッキを立体的に整備した見晴台

【施工対象の色彩、デザイン】

- 周囲の環境や構造物と調和し、誘目性（人目を引く性質）を弱めることを基本とする。
- 施工対象周辺の舗装や外構等も含めて、色彩やデザインに配慮する。



周囲の住宅街から浮いたデザインの公衆トイレ



山に囲まれた温泉地に調和した公衆トイレ

【建物や工作物等の配置、形状】

- 景観資源より大きいものを造らないことや景観資源の眺望確保に配慮する。



富士山の稜線を切らないよう配慮した建物



富士山を遮らないように配置された建物

観光地エリア景観計画に係る施設整備のチェックシート

本チェックシート（提出用紙）を提出する際には、施設設計時はイメージ図等、施設完成時は景観に配慮されたことが分かる写真（遠景・中景・近景）を添えて、市町（景観担当課）から県景観まちづくり課（keikan-machi@pref.shizuoka.lg.jp）に電子メールで提出して下さい。

市町名		担当課名		担当者名	
		電話番号		E-mail	
事業名					
事業場所					
事業概要 (補助対象)					
エリア名	(エリア計画の対象箇所名)				
事業期間	年 月 日 ~ 年 月 日	設計日	年 月 日		
以下の項目について、チェックポイントを参考にして該当するチェックボックスにチェックして下さい。					
チ ェ ツ ク 項 目	【眺望点（視点場）の配置】			【該当するエリア計画の景観施策 NO】	
	山岳や建造物、水面等の景観資源が適度な見込み角で見える位置に眺望点（視点場）を計画する。			【設計時】	
	・景観資源が程よい大きさで見えるように配慮する。「程よい大きさ」とは、見込み角が 10° ~ 20° 程度である。 ※手を前に伸ばしたときの拳（グー）の見込み角が概ね 10°、掌（パー）の見込み角が概ね 20° となる。			配慮した <input type="checkbox"/>	該当なし <input type="checkbox"/>
				【完成時】	
			配慮できた <input type="checkbox"/>	該当なし <input type="checkbox"/>	
【ベンチの配置】			【該当するエリア計画の景観施策 NO】		
ベンチから見せるものを意識して、ベンチの配置や向きを計画する。			【設計時】		
・景観とは「見ること」であり、何を見せたいのかを意識してベンチを配置する。			配慮した <input type="checkbox"/>	該当なし <input type="checkbox"/>	
			【完成時】		
			配慮できた <input type="checkbox"/>	該当なし <input type="checkbox"/>	

チ エ ツ ク 項 目	<p>【公共サインや観光案内板の色彩、形状、配置】</p> <p>屋外広告物やサインを設置する際には眺望を遮らない・周辺景観に違和感を与えないよう注意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眺望を遮らないように設置場所・大きさ・高さ・方向・角度・色彩に配慮する。 ・複数の点在する案内看板等がある場合は、集約化を検討する。 	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
	<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	
	<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	
	<p>【防護柵の構造、色彩、デザイン】</p> <p>安全性や機能性を確保できる必要最小限の構造により、できる限りすっきりとした形態意匠とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護柵を設置する場合は、景観配慮色・透過性の高い構造を採用する。 ・機能に無関係なイラストは景観を阻害するため、絵やレリーフ等の装飾は避ける。 	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
	<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	
	<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	
	<p>【植栽、樹木の修景伐採】</p> <p>樹木等が眺望を妨げないように配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹木の配置は眺望を妨げないように配慮し、むやみに列植することは避ける。 ・樹木の修景伐採は、専門家の意見を聞くなどして、良好な眺望の確保に努める。 	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
	<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	
	<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>	

チ エ ツ ク 項 目	<p>【園路の線形】</p> <p>園路を直線的な形状にしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 園路を直線的な形状とせず、変化に富んだシーケンスとする。 	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
		<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
		<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
	<p>【水際部の線形】</p> <p>水際線が直線的にならないようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水面との落差が小さな高水敷・植生などにより、柔らかな水際部を創出して、水際線が直線的にならないようにする。 	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
		<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
		<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
	<p>【法面・擁壁の構造、形態】</p> <p>法面・擁壁の構造及び形態は、できる限り周辺の景観と調和させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> できる限り地形や植生等の自然の改変を抑えるよう工夫する。 圧迫感のある形態は避ける。また、機能に無関係の絵や文字を書かない。 	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
		<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
		<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
	<p>【同一の断面形状】</p> <p>同一の断面形状が長く連続しないように（単調に見えないように）する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 直線・平面的な構造物とせず、単調でない形状とすることに配慮する。 	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
		<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
		<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>

チ エ ツ ク 項 目	<p>【施工対象の色彩、デザイン】</p> <p>建物や工作物等、施工対象の色彩及びデザインは周囲の景観を引き立たせるために、それ自体が目立つものとなっていない。</p> <p>・周囲の環境や構造物と調和し、誘目性（人目を引く性質）を弱めることを基本とする。</p> <p>・施工対象周辺の舗装や外構等も含めて、色彩やデザインに配慮する。</p>	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
		<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
		<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
	<p>【建物や工作物等の配置、形状】</p> <p>周辺の景観資源の眺めが阻害されないように、建物や工作物等の配置、形状を工夫する。</p> <p>・景観資源より大きいものを造らないことや景観資源の眺望確保に配慮する。</p>	<p>【該当するエリア計画の景観施策 NO】</p>
		<p>【設計時】</p> <p>配慮した 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
		<p>【完成時】</p> <p>配慮できた 該当なし</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>